



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年9月26日

第18号

さあ、運動会本番！ 一人一人がベストを尽くして

いよいよ27日（土）に大運動会を行います。今回は当日の天候も心配なさそうで、一安心です。

コロナ禍の数年間と熱中症対策等の影響から、本校の運動会は午前中だけの開催が定着してきました。「以前はもっとこうだったのに…」と、一抹の物足りなさを感じる保護者の方もおられるかとは思いますが、限られた時間の中でも子供たちが大きく成長できる運動会としたいと考えていますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

運動会についての校長の思いは前号、前々号でも少しずつ取り上げてきましたが、「運動会で大切にしたいと思っていること」について改めて整理すると、①各々が自分の力を出し切って真剣勝負をし、自分の記録を伸ばすとともにお互いの健闘をたたえ合うこと ②皆で力を合わせて自分たちの運動会を創り上げる喜びを感じること ③家族や地域の人々に支えられて毎日を健康に過ごせることに感謝すること の3つになります。

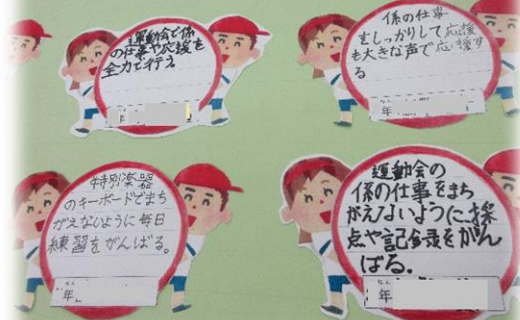
24日（水）の全体練習（※本校では本格的な予行練習を行いませんが、この日の練習で全校での動きを通し、確認しました）の際には、特に①のことを中心に子供たちに話しました。

村椿小学校の運動会では、昨年に引き続き100m走、80m走のタイムを全員分計測し、それを公式記録として、一人一人の「運動の記録」に残していきます。5・6年生は5月の連合体育大会の記録から、3・4年生は1年前の記録から、それぞれどれだけタイムを縮めることができるかを目指しましょう。また2年生は初めての100m走の公式タイム、1年生は小学校での初めての80m走のタイムとなります。精一杯走り切って、自分のベストタイムを記録として残していきましょう。

また、ゴールまでしっかりと走り切れれば、その人には必ず点数が入ります。それぞれが一生懸命に走るので、どうしても速い遅いの順位はつきますが、諦めることなく最後まで走り切りましょう。そうして自分たちの団の勝利を目指しましょう。

校長室前の廊下には、優勝旗と次勝カップが登場しました。今年度は赤白どの団が優勝を勝ち取るでしょうか。また、児童一人一人が書いた「運動会の目標」が出そろいました。競技や演技、係の仕事等々具体的に書いてあり、それぞれの願いをもって練習を続け、本番に臨もうとしていることが分かります。運動会当日にはグラウンドそばの壁面を利用して掲示する予定です。

家族の皆さんや来賓の方々に観ていただく本番だからこそ、子供たちの本気の力が出てくることでしょう。お子さんの必死に頑張る姿と輝いている表情をお見逃しなく！ そして親子競技では一緒に頑張ってくださいね。唯一無二の運動会を会場の皆で創り上げましょう。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想・運動会の感想もお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名（ ）



9/19(金)稲刈り よい体験ができました

のざわ農場の能澤喬之さん、JAくろべの皆さんなど、たくさんの方々に教わりながら、またとない体験学習ができました。5年生の一生懸命な様子や楽しそうな表情がたくさん見られました。学校HPも是非ご覧ください。

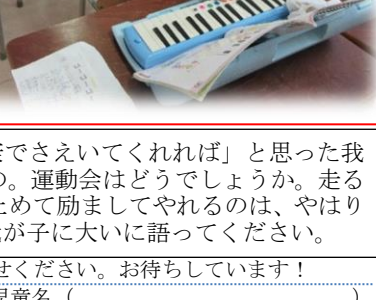


シリーズ「教室におじゃまします」9月25日(木)1年音楽科の巻

運動会の2日前のこの日、まずは運動会の歌の練習からでした。「君が代」と校歌は、楽譜や歌詞を「見なくても歌えます」というアピールなのか、思い思いの身体の向きで歌う子が多くいました。石井先生は「よい姿勢で歌うことも運動会で大事なことだね」と、歌うときの姿勢に意識が向くように促しました。3曲目は「ゴーゴーゴー」です。赤と白で音楽室の両端に分かれて向き合い、競争のように歌っていました。元気よく叫ぶだけの子もいますが、正しい音程で歌えている子もたくさんいました。そしてどの子もテンポよく歌えていました。「1年生が大きい声を出したら、みんなも真似するかもしれないよ!」と自信満々に言う子もいました。微笑ましいです。

次は「ドレミファソの音となかよくなりましょう」の学習です。「なかよし」の曲を、まずは歌詞で歌い、次に指番号で(ド・レ・ミを1・2・3、のように)歌い、その後は石井先生の歌と合わせるように鍵盤ハーモニカで演奏しました。右手指を丸くすることでド・レ・ミ・ファ・ソの鍵盤を5本の指で上手く押さえることができます。繰り返し何回か練習し、上手になっていました。

最後は文部省唱歌「ひのまる」を歌います。教科書の絵を見て、いろいろな国の国旗に注目した子供たちでした。実際に一度「ひのまる」を歌ってみると、「簡単そうで難しい歌だな〜」とつぶやく子もいました。なかなか鋭い! 次の時間にも歌の練習をするようです。



<おまけのひとりごと>「這えば立て 立てば歩めの親心」といいますが、生まれたときは「健康でさえいてくれれば」と思った我が子も、徐々に成長するにつれ「もっとこうだったらいいのに」と、親としての欲が出てくるもの。運動会はどうでしょうか。走るのが速いスターのような子が羨ましくもなるでしょう。しかし、我が子なりの小さな成長を受け止めて励ましてやれるのは、やはり親しかいないのではないのでしょうか。自身の経験に基づき、「運動会で大切なこと」を、親として我が子に大いに語ってください。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想・運動会の感想をお願いします

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()